

人物図鑑

ねむろを愛する
素敵な人たち

「優しい音色が、子育てを応援」

アンサンブルグループ

奏^{かな}音^ね

優しく耳に触れるのは、フルートとクラリネットの音色です。昨年8月、女性5名で結成されたアンサンブルグループ「奏音」（代表本間玲子さん）の練習場から流れる音色でした。

「奏音」結成のきっかけは、明治町の子育て応援施設「クルクル」に通うお母さんが、保育士の方との音楽談話からぜひ、子どもたちに生の演奏を聴かせてあげたいと、話しが進展しスタートしたものです。

「初めての演奏会は緊張しました。聴いてくれる皆さんにこの緊張が伝わらないよう心配しながら演奏を続ける中、子どもたちが真剣なまなざしで耳を傾けてくれたことが嬉しかったですね。」と、本当に嬉しそうに話してくれました。

その後も、児童会館などで

ミニコンサートを開催し、多くのお母さんと子どもたちとともに演奏を楽しむ機会を持っています。

「音楽を楽しみたいお母さんが多いのですが、演奏会にお子さんと一緒に行くことは周りに迷惑をかけるとの思いがあり難しいみたいです。私たちの演奏は、親子で楽しめる音楽を目指しています。間近で聴く音色を楽しんでもらいながら、観客と一体となったステージを心がけています。明るい子どもたちの笑顔が、私たちのエネルギーなんです。」そんな笑顔を見たいと、子ども向けの曲を中心にステージを構成していますが、リクエストがあればできる限り取り入れるようにしていきたいと意欲をみせます。

しかし、家庭を持つメンバー5名がそろって練習を重ねるのは難しく、「無理をしないで楽しみながら」をモットーに息の長い活動を続けたいと、音楽に対する思いが伝わってきます。

「奏音」が奏でる音色は、親子の愛情と心の優しさを感じさせます。今はまだ小さな輪ですが、子育て応援団として大きな輪となっていくことでしょう。